船坂新聞

ホームページ　http://funasakashinbun.news.coocan.jp/

2013. 9. 14　第60号　｜　発行：船坂新聞倶楽部

問い合わせメールアドレス　funasaka.moriagetai@gmail.com

市内の小学校から続々と見学

大人気の旧船坂小学校木造校舎

船坂小学校が閉校になって早くも3年半経ちました。

旧船坂小学校木造校舎の人気が、日増しに高まっています。

閉校の翌年から西宮市の管理委託を受けて、管理運営委員会当番(約30名)の皆さんが交替で、週4日、窓を開けて風を通し、校舎内外を清掃して大事に管理してきました。そして、昨年度からは草刈業務の委託も受け、6～10月の間、毎月一回ボランティアさんが草刈と樹木剪定もしています。その甲斐あって、最近は、個人の見学者、写真撮影や絵を描きにこられる方々が増えています。来られた人たちは口々に「きれいにされてますね。貴重な木造校舎なので大事にされていて嬉しい。」と言われています。

西宮市内の小学校の内、20校を超える学校から3年生校外学習で続々と来られています。見学時、大勢の子どもたちには、その日の当番さんが約10分程船坂小学校の歴史などを説明します。「秀吉もこの湯山古道を歩いたんだよ」と説明すると歓声があがります。子どもたちだけでなく、付添いの先生たちも木造校舎の見学をとても楽しんでおられます。

夏休みに行われた土と火と実りの里の芸術祭ワークショップでは60組もの親子が2日間木造校舎で土笛づくりを楽しみました。9月14・15日には、ボーイスカウト阪神支部のリーダー研修キャンプが、運動場とランチルームを活用して行われます。

（旧船小管理運営委員会）

運動場の雨水が滝に！

8月25日(日)未明から昼前にかけて降った大雨が、学校運動場に溜まりました。

閉校後3年以上側溝の清掃が行われなかったことも重なり、この日の大雨で溜まった水が、一段低い東隣のお宅の裏庭へ幅3m高さ6mほどの滝になって一気に流れ落ちました。幸い家屋に被害はなかったものの、お宅の方は「未明から怖くて寝ておれなかった」と話されていました。

管理当番からの連絡を受けた市が、30日に側溝を掃除し土のうを積んでくれました。

（池田壱和）

Daddys Bakery est 2001

〒651-1423西宮市山口町船坂90
TEL：078-907-3920

Kobako Vege
こばこベジ
〒662-0978　西宮市産所町3-24
OKKO陶芸工房2F
TEL&FAX 0798-26-3618
e-mail kobako.design831@gmail.com

セブン-イレブン
西宮船坂店
〒651-1423 西宮市山口町船坂419
電話　078(903)1090

Copyrights 2008-2011 funasaka-shinbun-kurabu. All Rights Reserved.

充実の秘訣は
夫婦円満～♪

船坂住民数珠つなぎ

今回は、地元でいろんな活動を精力的にされている1班の
柴原タネ子さんの登場です。

－出身は遠く離れたところだとか。

柴）四国の徳島で、高知県との県境に近いところの田舎です。
それでお見合いすることになったんですがお見合いに主人がわざわざ徳島の田舎まで来てくれたんですよ。それがきっかけで船坂に嫁ぐことになりました。
西宮市と聞いて甲子園球場のイメージで大きな街を想像してたんですが、来てみると実家とほとんど変わらないし、住まいも持ち家だと思ってたのが実は社宅だったり、冗談ですけどほんとダマされました（笑）。

－船坂での生活はどうでしたか。

柴）社宅からはじまって借家・持ち家と移り、20年ほど過ごしましたが、その家も道路拡張で立ち退きになって、今住んでいる家に落ち着くまで船坂の中だけで4回も転居したのが一番大変でした。仕事もいろいろしましたよ。ヤクルト配達したり、パセリ括りしたり、ミシンの仕事もしたり。ミシンの仕事仲間は今でもグラウンドゴルフ等でいいお友達づきあいしてもらってます。その後は流通センターで25年働いてました、雨の日も風の日もバイク通勤。終盤は主人がアッシー君をつとめてくれて本当に感謝しています（笑）。

－その中で子育てもあって、大変だったんですね

柴）なので仕事してる間は地元と関われず迷惑をおかけしたので、今は無口な私ですが老人クラブの副会長やJA年金友の会の役をさせてもらってます。また、JA女性会に入ったり、グラウンドゴルフしたり。それで交流の輪も広がってとても楽しいです。

－趣味もいろいろお持ちだとか

柴）小さい頃から飛んだり跳ねたりしてたので、運動会や学芸会の時だけはスターでした（笑）。

これらお皿もタネ子さんの作品

そのせいか今でも歌や踊りが大好きです。昔あった船坂の歌謡教室にも参加してました。毎年11月頃に公会堂で行う発表会に向けて、がんばって練習したり「何着る？　どうしよ？」と仲間とワイワイ騒ぎながら準備したり、とっても楽しかったです。

身体を動かす以外もいろいろ楽しんでます。陶芸、ジグソーパズル、紙人形作り等々。紙人形づくりは、人形作りは私ですけど紙を折るのは主人なんです。夫婦共同作業でできた人形は、家にきちんと飾ってます（笑）。　　（インタビュアー：黒木、中西）

古材問屋
651-1423　兵庫県西宮市山口町船坂280
Tel:078-903-5314 Fax:078-903-5319
http://www.kozaidonya.com

PENNY LANE
Light Weight Classic Cars & Cafe
ガレージ＆カフェ ペニーレーン
〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206
TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340
http://www.penny-lane.jp/

株式会社加登
☎ 078-904-3843
〒651-1423 西宮市山口町船坂710-4
墓石のことならお任せください

賑やかになればいいな～♪

船坂コミュニティからのお知らせ

夏休みをいただいていたランチ・カフェも９月よりはじまります。カフェは第１・第３日曜日、ランチは第２・第４日曜日です。

９月よりカフェ・ランチ・そばランチとも信号近くと学校の門の辺りにのぼりを立てます。

１０月第１日曜日ふれあいんぴっくの為、カフェはお休みさせていただきます。

９月１５日（第３日曜）　１３時 ： 船坂カフェ
９月２２日（第４日曜）　１２時 ： 船坂そばランチ
１０月１３日（第２日曜）　１２時 ： 船坂ランチ
１０月２０日（第３日曜）　１３時 ： 船坂カフェ

（旧船小管理運営委員会）

ガンバレ船坂！！

自治会長の交代

自治会長の西口英二さんが体調不良のため、残念ながら任期途中で辞任され、後任には前自治会長だった酒井博司さんが選任されました。心機一転のご活躍を願っています（新聞編集委員会）

旧船坂小でテレビ撮影

木造校舎で撮影された番組が、１０月１０日(木)午後１１時１７分からTV朝日(6CH)の「ビーパップ！ハイヒール」で放映されます。
興味のある方はご覧ください（新聞編集委員会）

今年の盆踊りを写真で振り返ってみました

汗びっしょりの音頭取りさん

アラエトサッサーノー

ヨイヤーサッサー

いらっしゃい！ビールどうでっか

自治会の金券持参で賑わう屋台

もっと大勢踊ってやー！

（池田壱和）

ベルグコンサート
9月２８日(土) １８:００から
教会音楽コンサート
２，０００円
要：電話予約
信州ベルグ
Tel:078-903-1172

創業昭和八年
北福畳店
西宮市山口町船坂702
TEL　０７８-９０４-２６６０

うどん
すじかま
651-1423 西宮市山口町船坂字北山
コイツカ2178-23　TEL：078-904-2661
◆パートさん募集中◆

土と火と実りの里の芸術祭2013　ボランティア募集

今秋、船坂では約14名の陶芸作家さんたちによる土の祭典「土と火と実りの里の芸術祭2013」を開催します。昨年に引き続き、地域のみなさまにボランティアのご協力をよろしくお願いいたします。

詳しい内容やボランティアを希望される方は池田までご連絡ください

ボランティア募集内容

① **チラシ発送作業のお手伝い**
日時：平成25年9月22日（日）　午後15時～16時。　場所：ランチルーム

② **開催期間中、作品監視・作品販売などをお手伝いくださるボランティアの方を募集します。**
日時：平成25年10月26日(土)～11月10日(日)の金土日祝
時間：午前10時～午後4時。　場所：旧船坂小学校木造校舎　（船坂里山芸術推進委員会）

秋の休みは "ふれあいんぴっく"

晴れたらいいね！

10月6日の日曜日、船坂ふれあいんぴっくがひらかれます。
午後1時より旧船坂小学校校庭（雨天の場合体育館）で開催します。
楽しい半日になるよう内容を検討、だれでも参加できる競技種目もあります。
日頃の運動不足を怪我をしないていどに頑張ってみませんか？
皆さんの参加をお待ちしています。　（黒木富美子）

calender（9/14～10/13）

9/14	15	18	21	22	26	28	29	3	10/6	9	12	13
土	日	水	土	日	木	土	日	木	日	水	土	日
自治会定例会	船坂カフェ道づくり	船坂老人クラブ講座	旧船坂小草刈り	船坂新聞編集委員会	船坂そばランチ体験農園稲刈り	学校跡活用推進委員会	ベルグ・コンサート	体験農園脱穀	船坂老人クラブ旅行	船坂ふれあいんぴっく	旧船坂小管理運営委員会	自治会定例会	船坂ランチ阪神南県民局旧船坂小視察

★船坂のサークル活動★

[バレーボール]　水19:30　　[テニス]　水10:00 土日9:00
[野球]　月2-3 回　　[ゴルフ]　年3-4 回
[ヨガ]　月10:00 火19:30　　[カラオケ]　第2・4土
[陶芸]　第2・4火　　[ちびっ子広場]　第3日曜
[趣味作品]　常設展　　[たんぽぽ]　第4日曜
[グランドゴルフ]　水金 (7-9 月) 9:30　(その他月) 13:30
県民広場 → [加工品] [そば] [ランチ] [カフェ]

編集者のつぶやき

船坂新聞創刊から今号で5周年。ご愛読ありがとうございます。
編集メンバーの入れ替えはありましたが、10人前後で毎月編集会議を開き、船坂の話題集めをしています。手弁当のボランティアです。
船坂のまちづくりに少しでも役立てるよう、いつまでも発行し続けられることを祈りながら。
（池田壱和）

暑かった夏が過ぎ秋に向かいつつあるこの季節。私は子どもの頃、この季節が結構好きだった。突然の暗い雲、夕立、そしてその後のさわやかな空気。雨で濡れた身体を拭きながら、家の中でホットミルクを飲み夕立が過ぎるのを眺めるのは、この上なく安心を感じられる瞬間だった。ところが最近の台風は、そんな優雅なことを言ってられない規模に変化しつつある。今の子ども達が見る夏の終わりは私が見たものとはまた違うものになるのかもしれない。
（岡田安紀子）

FUNASAKA
西洋料理/船坂
西宮市山口町船坂字北谷２１６番地
Tel/Fax 078-903-1158
http://www.seiyoryori-funasaka.com/
HPに最新情報を掲載しています

Kawahara Kobo
株式会社河原工房
〒569-0823　大阪府高槻市芝生町3-2-1
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587
URL http://www.omoiokatachini.jp
e-mail info@omoiokatachini.jp

知る人ぞ知る隠れ家レストラン
Alice
癒しの森のガーデンカフェレストランＡｌｉｃｅ
〒651-1423　西宮市山口町船坂１６２６
ＴＥＬ０７８（９０４）２６０３
バースデーケーキをお宅までお届けします。
（山口町内　無料配達いたします。）

座談会

アートとまちおこし

～西宮船坂ビエンナーレと具体芸術

作家
松谷　武判
Matsutani Takesada

西宮市大谷記念美術館副館長
森田　正樹
Morita Masaki

森田　西宮は昔から、美術教室や市民ギャラリーを作家自身が努力して立ち上げて「文化のまち西宮」をつくってきた歴史があります。

その西宮で2009年から西宮船坂ビエンナーレが始まっています。立ち上げの経緯や、地元の反応などを教えてください。

藤井　ドイツに一年留学した時に地域に根ざした大きな芸術祭を複数見て、アートで人が優しくなったり元気になったりするのを体験し、地元西宮のために一歩踏み出したいという思いが膨らんでいました。船坂小学校が閉校になる船坂に、アートが何かをもたらすのではないかと考え提案しました。

池田　2009年はまさにスタートの年でしたね。その前年に船坂小学校閉校の宣言を受け、地域の現実を知らなかった事を反省し、情報共有のために船坂新聞を発行し始めました。

そんな時、船坂新聞を読んだ藤井さんから連絡がありました。最初は、現代美術＝変な芸術といった認識でしたが、何かしないといけないのだったら、やってみようと!!

結果、来場者の数に驚き、民泊で制作された作家と住民のコミュニケーションが深まったのを実感しました。なにより住民同士の交流が生まれた事が、ビエンナーレ開催の原動力であったと思います。

藤井　2009年のプロローグから2012年の第二回まで3回を実施して「地域の人がどう思うのか」「来場者はなにを持って帰るのか」「作家がなにを感じるのか」という下地がやっとできたように思います。

森田　作家との触れ合いがいい影響を与えたということですね。参加された作家としてはどのように感じられましたか？

松谷　海外に住んでいても、常に日本の価値観を感じて活動していますので、展示場所として昔のままの善照寺を使えたのはうれしかったです。

美術館や画廊ではなく、今生きている場所で作り手と見る人がふれ合えるのがいいですね。これからも地方を大切にするということを忘れないで欲しいと思います。

池田　イベントの二ヶ月も前から作品作りを手伝うというのは、作品がただ並ぶという事とは大きく違うと思います。手伝った人が他の人へ伝えますし、できる過程を目にしますので、何となくわかっていくんですね…。ひょっとしたら、この辺りが現代美術の持つ力かなと思います。

松谷　戦後、表現の自由、創作の場を広げてできたのが私の所属する「具体美術」です。今ではインスタレーションとかパフォーマンスと呼ばれます。

生活の場へ行って製作する事で「理解」ではなく「感じて」いただけたんでしょうね。船坂という開放感の中で触れられるのがいいのではないかと思います。

池田　来場者は作品鑑賞を通じて船坂のよさを感じ、作家は船坂の特徴を考えて作品を作って下さっているのがうれしいですね。

藤井　西宮や阪神間でおこった具体美術が、船坂でまたゆるやかに重なりあっています。若い芸術家や地域の人が何かを感じ、船坂という場所がまた作品に影響を与え、ビエンナーレの魅力に繋がっているように思います。

松谷　若い作家もこういう経験からまた学んでいきます。昔の市民美術教室のように…。

森田　〝まち〟の中に美術が溢れるのが大切なんでしょうね。

松谷　美術は生産性のないものですが、やはり費用がかかります。その

西宮船坂ビエンナーレ総合ディレクター
武庫川女子大学准教授
藤井 達矢
Fujii Tatsuya

船坂里山芸術祭推進委員会事務局長
池田 壱和
Ikeda Motoyasu

バックアップ体制が欲しいですね。それが地域の文化や豊かさになると思います。

池田 全国に誇れる西宮の文化イベントとして、一層のご援助をいただきたいですね。

藤井 ボランティアの学生もアートや船坂が好きになり、新しいグループができています。西宮だけにとどまらず、文化の繋がりが世界に広がっていく可能性も秘めている場所だと感じています。

松谷 バス停で来場者と一緒に時間まちをしたことがありましたが、時間をかけて船坂まで行くのがいいんですね。だから皆さんの気持ちに残るんです。

池田 「普段の生活をしながら観てもらおう」と決めています。ビエンナーレは船坂の生活と合わせて見ていただいたらいいのかなと…。

私はアートだけで“まちづくり”ができるとは思っていません。たくさんある手段の中の一つがアート。だから、ビエンナーレの成功だけが目的ではありません。

松谷 「アートとまちおこし」いい言葉ですね。帰国したら西宮北口の喫茶店に作品を飾らせていただきますが、そこはお茶を飲むのが目的の場所ですから、画廊に飾るのとは違うんですね。

大好きな西宮と、どこかで繋がりたいと思っているのでしょうかね。

森田 アートが人や地域が繋がる触媒になったらいいですね。ビエンナーレによって船坂に起こった変化はありましたか?

池田 ビエンナーレで活用した船坂小学校の木造の校舎を残すために耐震補強工事をしていただけることになり、毎週日曜日にランチ、カフェ、手打ちそば、うたごえなどを始めました。それ以外にも、趣味の作品常設展、陶芸クラブ、ちびっ子ひろば、カラオケクラブなど地域住民が交流しながら活動する新しいスタイルが誕生しています。単発的な行事でなく、長期イベントに携わるボランティア活動を通じた住民の深い交わりが、地域を元気づける原動力になるんだと気付かされました。

松谷 あの木造校舎は船坂のシンボルですから大切にして欲しいですね。

森田 ビエンナーレは今後どのように展開されるのでしょうか?

松谷 世界に広げるのもいいですが、求めすぎるのはいけないと思います。あまり大きく広げる必要はないと思いますね。

池田 2012年は作家の数が増えすぎ、展示場所も広がったのですが、地域としては運営面で大変だったですね。

藤井 これからは物理的に広げるのではなく、ここでおこっている事を多くの人に見てもらう仕掛けができたらいいなと思っています。

池田 今年はビエンナーレの間の年で「土と火と実りの里の芸術祭2013」を開催しますが、地域もディレクターと一緒になって作家を選ぶところからやってみようと思っています。こうして実際に関わる事が、地域を変える原動力だと思っています。

藤井 西宮は表現者がいっぱいおられる〝まち〟です。今、船坂というキーワードで繋がってビエンナーレが始まっています。今後の方向については一度原点に立ち返り、たとえ規模が縮小したとしても内容の充実を大切にしたいと思います。こういう芸術祭は地域との信頼関係がないと成り立ちませんので、「土と火と実りの里の芸術祭2013」で住民の方々がさらに深く運営に関わるのはいい機会ですね。

展覧会として世界から注目されるという事だけにとらわれず、結果としてここ船坂から世界に繋がっていく…そんな広がりを作るためにも、しっかりした柱をたてたいと思っています。